

発行／坂城町公民館 発行人／柄澤 俊彦 編集／広報部 印刷所／(株)シーデンス
〒389-0602 長野県埴科郡坂城町中之条2468 文化センター内
(TEL.0268-82-2069 FAX.0268-82-8722)



❖主な内容❖

- 令和6年度坂城町公民館事業スタート! 2P
- 第46回納涼音楽会・第35回春の合同茶会 3P
- 特集 ふるさと探訪PART 116 4P~5P
- さかきふれあい大学各種講座が開講! 6P
- 坂城町文化センター耐震補強及び
大規模改修工事竣工式・500字リレー 7P
- お知らせ・館説開畝 8P

春のスポーツ大会

令和6年度春のスポーツ大会が5月18日(土)に文化センター体育館と町内グラウンドにて開催されました。今年度の種目は、ソフトボールとビーチボールで、14分館から28チーム、総勢269人の選手の皆さんに参加していただきました。昨年度新たに加わったビーチボール小学生の部には5チームの参加があり、大会を盛り上げていただきました。各会場では熱戦が繰り広げられ、応援にも力が入り、春のスポーツ大会を楽しんだ一日となりました。

令和6年度坂城町公民館事業スタート!

令和6年度の公民館事業がスタートしました。本館専門部のみなさん、分館役員のみなさんを紹介します。一年間よろしくお願いいたします。

分館役員のみなさん

(敬称略)

分館	分館長	副分館長	文化部長	体育部長	広報部長
鼠宿	木全 賢二	富井 裕治	長谷川 修	赤池 登	吉岡 亮
新地	山崎 秀巳	南澤 正雄	高井 久	坪内 卓哉	山崎 充孝
金井	竹内 茂和	宮下 和久	吉川 伸一	前山 真矢	田中 健司
入横尾	田中 優	関根 秀行	鎌原 敏	神尾 栄司	西沢 和也
町横尾	三角 健次	宮下 隆雄	青木 雄紀	中村 雄志	竹花 洋明
泉	中沢美智子	井出 未麗	橋本 重直	荒井 聖子	米倉 充
中之条	保坂 義昭	丸山 浩司 中島 一弥	町田 圭	町田 公平	滝澤 克彦
四ツ屋	池田 公雄	甘利 靖之	広田 勝敏	矢嶋 仁	鷲津 英明
戊久保	丸橋 建一	降旗 雅一	-	今溝 翔太	平良 一文
御所沢	滝沢 幸映	高見幸一郎	柳沢 順子	滝沢 清	大橋あつ子
田町	小林 秀樹	竹堤 恵一	井上 智之	片桐 修	小宮山勝人
横町	宮崎 義也	蒲原 敏一 小見山 芳哉	宮本有紀代	大日向進也	都筑 賢司
込山	吉沢 邦夫	安島 澄人	竹鼻 正和	栗林 寛	中沢 則彦
立町	関戸 正文	児玉 芳明 金井 大輔	高藤 典昭	田村 亮	坂口 宗久
旭ヶ丘	小宮山弘人	北澤 圭介	寺島こづ枝	小宮山弘人	小林 久江
南日名	笠井 隆治	柘植 幸男 深井 志津男	塚田 利幸	小宮山浩一	塚田 利幸
北日名	柳沢 直実	中村 実二 中沢 忠和	柳澤 直也	柳澤 勇雄	西澤 英司
日名沢	萩原 秀三	塚田 克彦	春日 利徳	春日 琢磨	石原 敏子
大宮	池田 千尋	池田 利幸	小野 天	牧村 浩明	塩野入由美人
新町	清水 浩樹	千野 純一 清水 邦男	佐藤 庸介	池田 浩希	平田 義紀
坂端	高橋 憲彦	高橋 貴博 高橋 光博	高橋 伴幸	竹中 譲	高橋 昇
蒨屋原	酒井 博司	小出 正紀	水出 和子	神田 浩志	水出 恒明
網掛	高井 資昌	塩野入 繁人 宮入 真道	沢崎 泰弘	神田 純一	元島 武文
上五明	北沢 一憲	鈴木 久男 山城 忠則	竹内みゆき	山城 洋平	塚田 洋介
上平	菅原 美佳	小出 和博	小出 裕子	中曾根まゆみ	大橋 正浩
小網	西澤 茂盛	宮沢 正博	宮下 寛子	小島 俊二	関 貞巳
月見	鳴海 健児	宮崎 佳昭	山崎 和巳	村岡 俊哉	渡辺 剛

本館専門部員のみなさん

専門部は、町公民館の事業をそれぞれ分担して企画立案し、公民館運営の要として活動します。

総務部

町公民館事業全体を検討し、推進します。

部長 滝沢 幸映 (御所沢)
副部長 北沢 一憲 (上五明)
中沢美智子 (泉)
荻原 秀三 (日名沢)

文化部

文化事業を企画し、運営します。

部長 山崎 和巳 (月見)
副部長 水出 和子 (蒨屋原)
高藤 典昭 (立町)
高井 久 (新地)

体育部

健康増進のため体育事業を企画し、運営します。

部長 神尾 栄治 (入横尾)
副部長 中曾根まゆみ (上平)
矢嶋 仁 (四ツ屋)
小宮山浩一 (南日名)

広報部

公民館報を編集し、発行します。

部長 元島 武文 (網掛)
副部長 平田 義紀 (新町)
田中 健司 (金井)
都筑 賢司 (横町)

現地視察では、神官松田邸と武水別神社に視察へ行き、千曲市の文化と歴史について役員の方々は真剣に聞き入っていました。



5月25日(土)に、千曲市八幡公民館で更埴公民館運営協議会分館役員研修会が行われました。坂城町公民館からは、本館と各分館から7名の皆さんが出席し、生涯学習・社会教育の意義や公民館の果たすべき役割といった公民館の職員として知っておきたい基礎的な知識を学ぶとともに、スキルアップを図りました。生涯学習推進センター公民館支援専門員の中田安子さんを講師に「自分自身が楽しむ分館活動」として、長野県の各地区の特徴ある公民館の分館活動を紹介していただき、同じく中島章さんには「子どもの成長を支える公民館」をテーマに、地域の公民館が子供たちの居場所やコミュニケーションの場となった事例を講演していただきました。また、

更埴分館役員研修会



第46回納涼音楽会



第46回納涼音楽会が6月29日（土）に、南条小学校音楽堂において開催されました。今年度は全9団体が参加してステージ発表を行い、日頃の練習の成果を十分に発揮していました。

今年度はプログラムのはじめに全員で四部合唱「坂城町の歌」を歌い、元気で美しいハーモニーが音楽堂いっぱいに響きわたりました。

それぞれの発表をお互いに聴き合い、楽しむとともに、夏に向かう暑い日差しの中、さわやかな涼しい風が会場のみなさんの心の中に吹きわたりました。



①坂城コーラス



②坂城ミュージックベルの会



③坂城小学校合唱部



④アルストロメリア



⑤村上小学校合唱部



⑥さかきハッピープラス



⑦坂城オカリナ教室



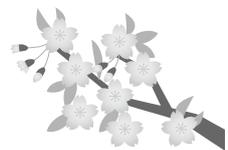
⑧童謡・唱歌を楽しむ会



⑨坂城町吹奏楽団



第35回春の合同茶会



4月21日（日）に、第35回春の合同茶会が坂城町文化の館で開催されました。

本席は表千家、裏千家の野点席はコロナ禍の制限により5年ぶりのお庭での開催となりました。

訪れた人々は表千家・裏千家の両方のお茶席を楽しむとともに、礼儀作法、和の心を貴び、おいしいお茶とお菓子をいただきました。



表千家



裏千家



文化の館舗装通路

遺跡を歩こう！ -坂城 古代のものづくり-

◇はじめに

皆さんは『遺跡』と聞いて何が思い浮かぶでしょうか？

古墳や山城、竪穴住居が浮かぶ方、土器や石器などの出土品が浮かぶ方、馴染みのない言葉でよくわからない、という方もいるかもしれませんね。

さて、『遺跡』とは、過去の人々の生活や活動の痕跡が残された場所です。遺跡には、住まいの跡だったり、墓であったり、儀式や戦いの跡であったりと様々な種類があります。その中に、生活に必要な食糧や道具を作り出す生産活動に関係する『生産遺跡』があります。今回は、「ものづくりのまち」坂城で発見された生産遺跡、特に製鉄に関係する遺跡を巡ります。

◇鉄製品ができるまで

釘や刃物などの鉄製品ができるまでには、大きく分けて次のような工程があります。

①製錬・鉄鉱石や砂鉄などの原材料から、金属鉄を取り出す工程です。

②精錬・製錬で取り出された金属鉄から不純物を取り除

き、鉄の純度を上げて加工しやすくする工程です。大鍛冶、精錬鍛冶とも呼ばれます。

③鍛錬・精錬でできた鉄素材などから製品をつくる工程です。小鍛冶、鍛錬鍛冶とも呼ばれ、熱した鉄を叩いて製品を作ります。鍛錬のほかに、溶かした鉄素材を鋳型に流し込んで製品をつくる「鋳造」があります。

このように、「製鉄」とは原材料から鉄を抽出する作業をいい、「鍛冶」は鉄を用いて製品を作ったり、修理を行ったりする作業を指します。このため、生産遺跡の中で、鉄の生産や製品化・加工に関わるものは「製鉄遺跡」と「鍛冶遺跡・鍛冶遺構」のように区別されることもあります。

◇古代日本の鉄の歴史

日本で鉄製品が作られるようになったのは、いつ頃のことなのでしょう。実は、「製鉄」と「鍛冶」は始まったとされる時期が異なります。まずは製鉄の歴史から見てみましょう。

日本における製鉄の始まり

は諸説ありますが、全国の発掘調査成果から、古墳時代後期の6世紀頃にはすでに開始していたと考えられます。7世紀後半には国が製鉄技術を各地に伝え、九州から東北まで広く製鉄が行われるようになりました。中世になると、製鉄技術は各地で多様化していきます。この中で、中国地方で発達した製鉄技法は、近世になって「たたら製法」として確立されました。

一方、鉄製品の使用と鍛冶の痕跡は今から約2000年前の弥生時代中期末まで遡ることができ、弥生時代後期以降、鉄製品は九州から東へと広まっていきます。坂城町では、弥生時代後期の集落遺跡である塚田遺跡から鉄製の斧が出土しており、この時期には坂城周辺でも鉄製品の使用が始まっていたことが分かります。



【写真1】塚田遺跡出土鉄斧

【写真1】

古墳時代になると技術が向上し、精錬鍛冶も行われるようになります。特に、古墳時代後期以降は多くの鍛冶炉をもつ遺跡が登場し、鉄素材や鉄製品が増産されたと考えられます。奈良・平安時代以降は、集落内でも鍛冶が行われるようになり、村や町の鍛冶として中世・近世へと続いていきました。

◇坂城町の製鉄・鍛冶遺跡

坂城町で鉄の生産・加工に関係する遺跡は、『小山製鉄遺跡』、『開畝製鉄遺跡』、『栗田小鍛冶跡』の3箇所が確認されています。このうち、発掘調査が行われた小山製鉄遺跡と開畝製鉄遺跡について、詳しく見ていきたいと思います。

◇平安時代の鍛冶遺跡

『小山製鉄遺跡』

小山製鉄遺跡は、北日名区の小山地籍にあった遺跡です。上信越自動車道建設のため、平成5年に発掘調査が行われました。遺跡の範囲は、現在の五里ヶ峯トンネルの入り口付近に当たります。

【写真2】 【写真3】

発掘調査では、鍛冶炉跡8基のほか、竪穴住居跡2軒、土坑、柱穴列等が検出されました。また、地形が谷状に低くなった場所に、大量の鉄滓が捨てられているのがみつかっています。木炭や鉄滓、鞆羽口といった鍛冶に関連する遺物も、遺跡のあちこちから出土しました。出土遺物から、遺構の時期は9世紀後半から10世紀前半頃と考えられます。平安時代の前期後半から中期始め頃に当たり、この時期に鍛冶業が営まれていたようです。

鍛冶炉は精錬鍛冶および鍛錬鍛冶を行うためものと



【写真2】現在の小山製鉄遺跡周辺



【写真3】五里ヶ峯トンネル記念碑

考えられ、小山製鉄遺跡では鍛冶作業を中心に行っていたことが推察されます。鍛冶炉とは別に竪穴住居跡が見つかっていることから、居住のための建物と仕事場は分けられており、鍛冶工人たちはこの場所で生活しながら鉄製品の生産に携わっていたと考えられます。

◇中世の製鉄遺跡

『開畝製鉄遺跡』

開畝製鉄遺跡は、名前を聞いたことがある方も多いのではないのでしょうか。中之条地区に所在する遺跡で、現在の学校給食センター南東側、山麓部が遺跡範囲となっています。文化庁が行った生産遺跡分布調査に伴い、昭和52年、53年に発掘調査

が行われました。この発掘調査は県下初となる製鉄遺跡の学術調査で、開畝製鉄遺跡は長野県内でも著名な遺跡の一つなのです。

【写真4】

発掘調査では、製鉄炉跡2基と集石跡3基などが発見されました。製鉄炉跡は炉の底部のみが残っている状態でしたが、高さ1〜1.5m程度の円筒状の炉（円形豎形炉といえます）と推定されています。また、製鉄炉の周辺では砂鉄が入ったピットが見つかりました。科学分析の結果、この砂鉄は千曲川由来の砂鉄であることが判明し、開畝製鉄遺跡では千曲川の砂鉄を原材料とした製鉄が行われていたことが分かったのです。

この調査では、製鉄炉の底部に残っていた木炭の放射性炭素年代測定も実施されました。分析の結果、製鉄炉が使用されていた時期は16世紀から17世紀頃と推定されました。出土した土器の様相を鑑みると、16世紀代に操業していた可能性



【写真4】開畝製鉄遺跡遠景



【写真5】千曲川から五里ヶ峯・葛尾山を望む

◇おわりに

今回は坂城町の生産遺跡をテーマに、小山製鉄遺跡と開畝製鉄遺跡をご紹介します。千年から数百年前、この地で暮らした人々のものづくりの痕跡が生産遺跡には残されています。現代と同じように、ひよっとしたら現代以上に、ものづくりは身近にあったのかもしれない。

（遺跡には山林に近い場所や私有地、山中に所在するものもありますので、探訪の際はご注意ください）

（篠井ちひろ）

が高いと考えられます。室町時代後期から安土桃山時代にかけての時期で、日本では地域の有力者が領主として台頭し、領地をめぐる攻防が頻発した時代です。同時に、各地の文化や経済が発展し、社会構造が大きく変化していった時代でもあります。開畝製鉄遺跡で鉄が作られていた時期、坂城地域では領主が村上氏から武田氏、織田氏へと交代していききました。地域を取り巻く情勢の変化を、製鉄を行っていた人々はどのように感じていたのでしょうか。

【写真5】

令和6年度さかきふれあい大学各種講座が開講しました

キッズスポーツ教室

5月8日(水)から始まったキッズスポーツ教室は、年中・年長のお子様が、いつもと違うお友達と運動や楽しいレクリエーションゲームを通じて、スポーツに親しみ、豊かな創造力を育てていく教室です。長野体育センターの山崎修先生のご指導のもと、1年間元気よく活動していきます。



リトミック教室

リトミック教室は、1歳～3歳のお子さんを対象とした、音楽やリズム体操などを通じて、感受性を育てる教室です。

6月5日(水)にスタートし、中沢敏江先生のご指導のもと、音楽に合わせて体を動かしたり、マラカスや鈴などの楽器を鳴らしたり、様々な活動をして楽しんでいます。七夕やハロウィンなど季節のイベントも行っています。後期の生徒さんも募集しています。詳しくは8ページをご覧ください。



専門講座 川の学校

6月21日(土)・22(日)につけば小屋「魚とし」において、小学校3年生以上の親子を対象とした「川の学校」が開催され、定員いっぱいの12組の親子が参加されました。

後藤敏一さん、後藤正一さんを講師として、1日目は川沿いの清掃、竹竿釣り体験、魚の仕掛けづくりを行いました。ナマズのつかみ取り体験では、ぬるぬるのナマズを手でつかんで子供達が大興奮!貴重で楽しい体験を行うことができました。2日目は仕掛けにかかった釣果を確認し、アユとウグイの串焼き、ナマズのおみおつけなどの朝ごはんを参加者のみなさんで頂きました。



専門講座 アロマづくり

6月8日(土)に、町立図書館で、アロマテラピールーム 風香 山崎あき子先生による「わたし好みのアロマの消臭スプレーづくり」が開講しました。アロマの代表的な6種類の精油の匂いをそれぞれ嗅いで楽しみ、特徴や匂いから自分の好みの3種類の精油をブレンドして、オリジナルの消臭スプレーを作りました。

専門講座 続・楽しく脳トレ

6月1日(土)から、「続・楽しく脳トレ」が開講いたしました。ニュースポーツの「モルック」や、老若男女問わず楽しめる「囲碁ボール」、脳を活性化する指体操などを行い、皆さんで和気あいあいと楽しみながら「認知機能をつかさどる脳」を活性化させる講座です。7月・8月・9月と全4回の開講を予定しています。

専門講座 ピラティスで美ライン

6月4日・11日・18日の全3回、町立図書館で小宮山陽子先生による、「ピラティスで美ライン」の講座が行われました。15名の参加者ほとんどの方がピラティス初心者でしたが、先生のご指導のもとピラティスの基礎や呼吸法を学び、からだの内側から体幹やインナーマッスルを鍛えました。後期も小宮山先生のピラティス講座を開講予定です。

長野大学坂城町講座 子ども向け絵画教室

7月3日(水)、文化センター会議室で長野大学企業情報学部石川吉宗教授による、3歳～12歳までのお子さんを対象とした絵画教室が、文化センター中会議室で開催されました。石川教授が用意されたリングを、子供たちは先生のお手本を参考にしながら、思い思いの自由な感覚で、色鉛筆でのびのびと描いていました。

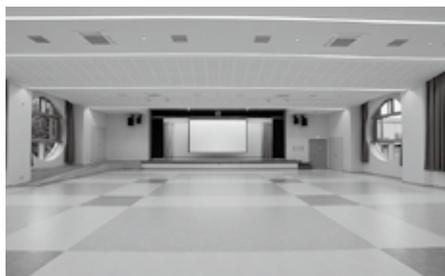
坂城町文化センター耐震補強及び大規模改修工事竣工式

令和6年6月28日（金）に、坂城町文化センター耐震補強及び大規模改修工事竣工式が行われました。

山村町長はじめ関係者の皆様によるテープカットの後、竣工式が行われ、盛大に文化センター完成の祝賀が行われました。ドローン撮影による館内施設の記念映像上映では、上空から文化センターを鳥瞰した様子を確認したほか、新しく生まれかわった各部屋の紹介を行いました。

文化センターは、地域文化の発展の拠点として、多くの皆様の文化活動や情報発信の場となることを祈念しております。

7月1日から貸し館を行っております。ご利用の際には、文化センター1階事務室または、TEL 0268-82-2069 までお問い合わせください。



大会議室



2階コミュニティホール



事務室と管理室



テープカット

公民館文化講座

4月12日（金）に、令和6年度公民館文化講座の開講式が開催されました。

今年度の講座は12講座13教室の開講となります。

この講座は、生涯を通じた生きがいづくりに挑戦しようとする初心者を対象としております。年度途中からの受講希望者も歓迎しております。興味・関心のある講座がありましたら、お問い合わせでご参加ください。

俳句 短歌
茶道（表千家） 茶道（裏千家）
書道 古文書 絵画
木彫 陶芸 コーラス
詩を楽しむ 季節の郷土料理
自主講座盆栽

500字レターーク

「ルチオ」

新町 ルチオの母

ルチオは2014年7月10日生まれ。マルチーズとトイプードルのミックス犬でオス。知り合いのブリーダーから「1匹残っているけど、どう？」と声をかけられ、我が家にやってきた。ミルクティー色で、くるくると縮れ毛で可愛くって、一目ぼれだった。私の膝の上でぶるぶると震えながら我が家までの道中を耐えていたのが昨日のようだ。あれから10年、愛おしさは増すばかり。犬は10年過ぎると高齢犬になり、人間同様、食事、運動、歯などにさらに気をつけなければならない。散歩は夫の仕事で、食事は私。ドッグフードに野菜を少し混ぜる。7月10日生まれだからなのか、納豆が好き。ルチオは美食犬でも食べるわけではない。お口に合ったものを選んで食べる。見習いたいものだ。トイレはゲージの中、犬の習性で、マーキングをする場所が3か所。我慢していたがとうとうマナーパンツをはかせることにした。パンツを嫌がることもなく、誰にでもおなかを見せてしまうルチオはパンツをはく時もおなかを見せて付けさせる。お利口である。人間の言葉がわかるのか家族の名前を呼ぶと「ワン」と吠える。「猫」というと外に向かって吠える。外にいる猫をみて吠えているとき、猫が「外に出て来いよ」というような顔をして通り過ぎていく。夜は私の体にピタッとくっついて過ごす。ずっと一緒にいようと耳元で囁く。今日は中乗真紀さんをお願いします。

リトミック教室後期受講者募集

リトミック教室後期受講生を募集します。リズムを通じて人間形成に欠かせない「社会性」、「創造性」、「感受性」を育てる楽しい講座です。

日時 10月2日～2月26日 毎週水曜日10:00～11:30

会場 坂城町文化センター 多目的室

指導者 中沢敏江さん (リトミック研究センター特別講師)

対象 1歳～3歳児とその保護者

受講料 半期 4,000円

申込先 坂城町公民館 (文化センター内) 82-2069

短詩型文学祭作品募集

坂城町と千曲市で構成する更埴公民館運営協議会では、第29回更埴地区短詩型文学祭を開催します。応募要領と投稿用紙は坂城町公民館にあります。入賞者には、表彰状と記念品を贈呈しますので奮ってご投稿ください。

募集期間： 7月1日 (月)～8月31日 (土)

募集部門： 短歌・俳句・川柳・現代詩

投稿料： 応募用紙1枚につき500円(小・中・高校生は無料)

投稿先： 坂城町公民館 (文化センター内) 82-2069

2024 ライフ・ステージエコー ドラム缶が楽器になった!

カリブのリズムでみんなノリノリ!世界3大カーニバルのひとつ「パノラマ」を体験!

カリブ海に浮かぶ小さな島で生まれた、ドラム缶を加工した画期的な楽器、スチールパン。

テレビのCMなどで良く使われている、あのファンキーな音はこの楽器なのです。

透明感あふれる美しいサウンドを生かした、躍動感あふれるステージにご期待ください。

日時 11月24日 (日)

開場：午後1時30分 開演：午後2時

会場 文化センター 大会議室

チケット 一般 500円 (予定)

販売先 実行委員または

教育文化課生涯学習係 (文化センター内) 82-2069

出演 PAN NOTE MAGIC

第52回坂城町文化祭の開催と 参加申込みのお知らせ

10月26日(土)、27日(日)の2日間、文化センター、体育館及び文化の館を主会場として第52回坂城町文化祭を開催します。

坂城町文化祭は町民の皆さんでつくる文化祭です。

今年は、個人出品及び一般申し込みも可能ですので、歌や演奏などの芸能公演の発表や日頃手がけている絵、書などの作品を展示してみませんか?

皆さんの参加をお待ちしています。

希望する方は、坂城町公民館 (文化センター内) に申込用紙がございますので記載の上、

8月16日 (金) までに提出をお願いします。

お問い合わせ先 坂城町公民館 (文化センター内) 82-2069

教育委員会イベント・講座一覧(11月まで)

イベント・講座についての詳しい情報については、生涯学習係 (文化センター内) 82-2069 までお問い合わせください。

行事名	日程
公民館文化講座	開講中
としよかん講座	開講中
リトミック教室	開講中
キッズスポーツ教室	開講中
さかきふれあい大学 専門講座	5月より順次開講
長野大学坂城町講座	5月より順次開講
分館スポーツ大会	7月20日(土)
文化センターリニューアルオープン記念「サマー・コンサート」	7月21日(日)
町民会議企業見学会 株竹内製作所・株ロビニア	8月1日(木)
第69回坂城町二十歳のつどい	8月15日(木)
サントミュージゼ定住自立圏コンサート ヴァイオリン・コンサート外村理紗さん	8月21日(水)
村上氏フォーラム事業 親子トレッキング 砥石城を守ろう!	9月28日(土)
秋のスポーツ大会	10月5日(土)
第52回坂城町文化祭 (村上氏フォーラム)	10月26日(土) 27日(日)
令和6年度ウォークラリー大会	11月9日(土)
短詩型文学祭表彰式	11月23日(土)
ライフステージエコー2024 スチールパン・オーケストラ	11月24日(日)

説 開 館 敵

4月に金井区民球技大会が文化センター体育館で行われました。種目は「スマイルボウリング」です。組毎にチームを作り、AとBの2ブロックで対抗戦を行いました。小学生からお年寄りまで幅広い選手層でした。6つのレーンで競技が始まると、体育館はボウリング場と変化します。ボールが床を転がり、ピンを弾く音は、まさにボウリング場そのものでした。

スマイルボウリングは簡単な競技で、子どもから高齢者まであらゆる年代層が楽しめる、仲間とゲームを楽しむ、親睦をはかることをねらいとして考えられました。また、医師の助言による高齢者の健康面の配慮もされており、機能の保持・増進をはかることもできるスポーツです。

体育館には、子どもたちの練習レーンも用意されていたので、子どもたちと一緒に練習をさせていたいただきました。途中にゲートがあると、ピンを倒すように投げると、なかなか難しかったです。

スマイルボウリングは、ピンを立てたりボールを戻したりするのを選択手が協力して行います。子どもたちも喜んでやっています。また、審判や競技役員は、分館役員の皆さんが携わっていました。この大会は、金井区の皆さん全員で創り上げている大会であることを感じました。